

Tough Wide Dome Tent 300EX

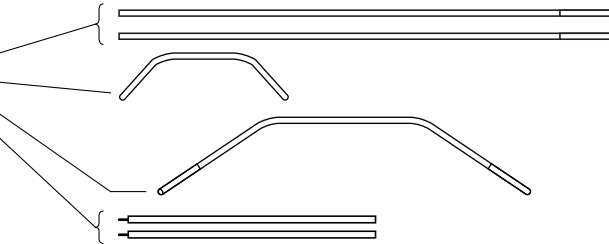
この度はタフワイドドームテント300EXをお買い上げいただき誠に有難うございました。

テント設営の際は水はけが良く、できるだけ平らな場所を選んでください。

また、石や木の枝等、テントを傷つけるおそれのあるものは、あらかじめ取り除き、整地してから設営してください。

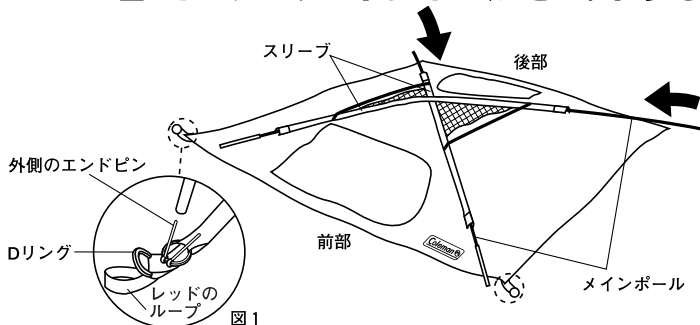
セット内容 お出掛けになる前に一度、パーツ等の不足がないかご確認ください。

- 本体（インナーテント） 1張
- フライシート 1張
- メインポール（シルバー） 2本
- パイザーポール（ブラック） 1本
- フロントポール（ブラック） 1本
- キャノピー用ポール（シルバー） 2本
- 自在ロープ（3M） 6本
- 自在ロープ（2.5M） 5本
- ABSベグ 6本
- スチールピンベグ 16本
- ハンマー 1ヶ



設営手順

STEP 1 インナーテントにポールをセットする



①インナーテントを広げ、メインポールを伸ばします。

⚠️ 注意

ポールを伸ばす際には、各節を完全に差し込んでください。不十分な場合、ポールが折れる可能性があります。

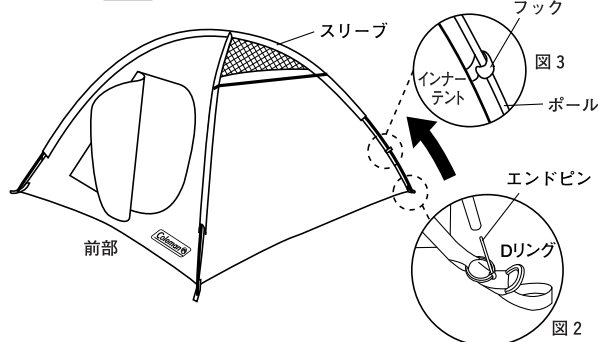
②メインポールをクロスするスリーブに通し、エンドピンに差し込みます。（図1）

重要 メインポールは、外側のエンドピンにセットしてください。

⚠️ 注意

ポールは引っ張らず必ず押し入れてください。

STEP 2 本体を立ち上げる



①出入り口は空気が入りやすいよう、あらかじめファスナーを全開しておきます。

②スリーブを持ちながらメインポールを前部に向かってそれぞれ押し入れます。

⚠️ 注意

スリーブを持たずに押し込むとポールが折れたり本体がやぶける事があります。メインポールは2本同時に、徐々に立ち上げてください。（2人で）

③立ち上がった後エンドピンにポールを差し込みます。（図2）

④インナーテントに付いているフックを各ポールに掛けます。この時に手をはさまない様氣をつけてください。（図3）

STEP 3 バイザーポールをセットする

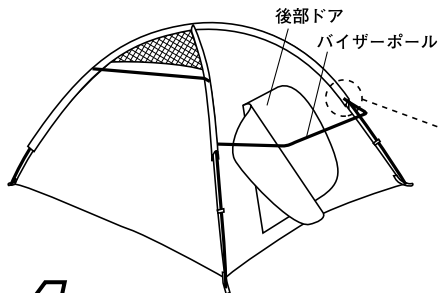


図 4

- ① バイザーポール（ブラック）は後部ドア側のスリーブにセットします。
- ② スリーブに付いているグロメットにポールの先端を差し込みます。（図 4）

STEP 4 フロントポールをセットする

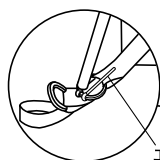
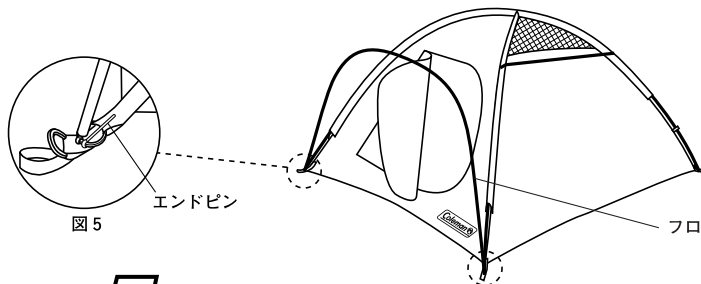


図 5

- ① フロントポール（ブラック）をフロントドア側のコーナー 2ヶ所に残っているエンドピンに差し込みます。（図 5）

STEP 5 設営位置を決め4ヶ所をペグで固定する

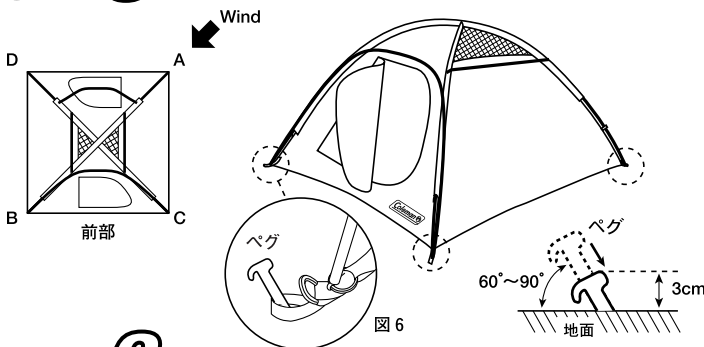


図 6

- ① 図のように 4ヶ所のループを風上より順に(A~D)対角線にペグ打ちしてインナーテントを固定してください。（図 6）

△ 注意
フロアシートにシワがなくなるように、テンションをかけながら、ペグ打ちしてください。

ペグは60°~90°の角度に打ち込むと風に対して強く設営できます。

STEP 6 フライシートをインナーテントにセットする

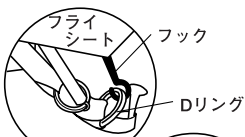
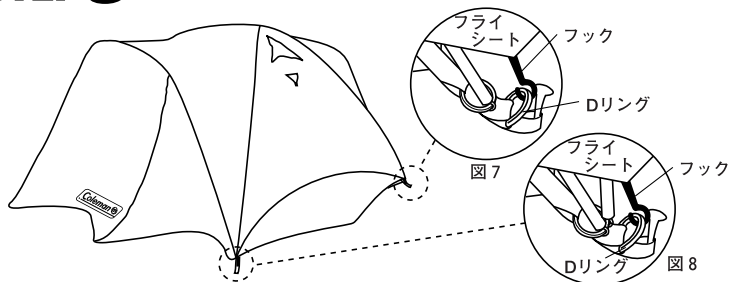


図 7

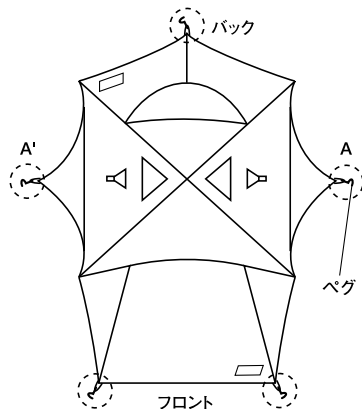


図 8

- ① フライシートを後部からフロント側へかぶせます。この時にバイザーポール、フロントポールはフライシートの内側になります。
- ② フライシートの端に付いているフックをインナーテントのループにつけているDリングに掛け（4ヶ所）（図 7、8）、フライシート内側にあるベルクロテープをメインポール、バイザーポール、フロントポールに止めて固定します。

STEP 7 フライシートをペグで固定する (5ヶ所)

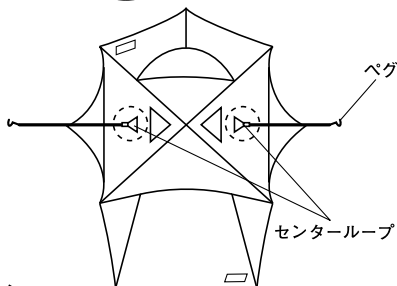
- ①フロント、バック側のループを張り出し、ペグで固定します。
- ②A・A'のループを外側に引っ張り、インナーテントから十分離れたところで、ペグで固定してください。外気の取入口となります。



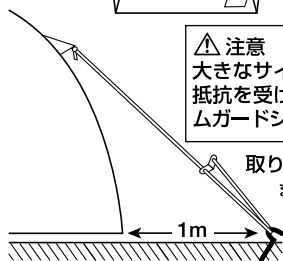
STEP 8 センターループとストームガードシステムの活用 (6ヶ所)

- ①フライシートの両側面にあるセンターループに付属のロープを結び、図のようにペグで固定します。

注意
 テントの安定性を高め、フライとインナーの接触を防ぎます。必ずご活用ください。

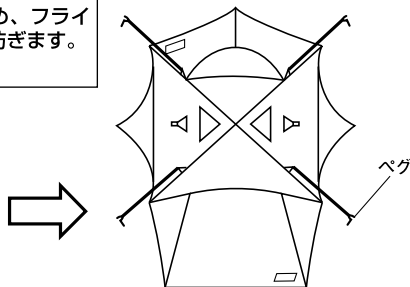


注意
 大きなサイズのテントはその構造上、風の抵抗を受けやすくなっています。「ストームガードシステム」を必ずご活用ください。



取り付け方

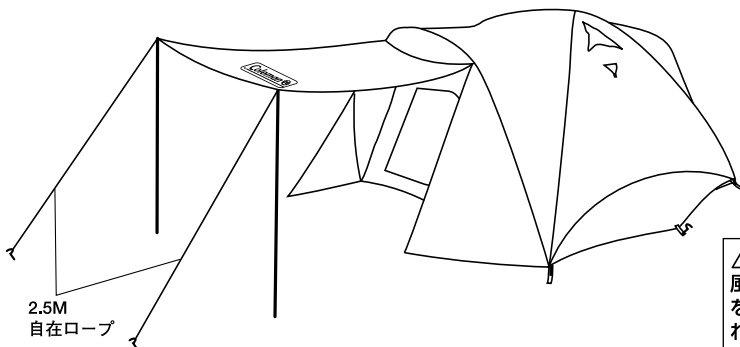
まず自在ロープの端をストームガードのロープに結びます。
 そして打ったペグにロープをかけて自在をしめあげます。



上・左図の要領にて4カ所にロープをセットし、本体から約1m程離れた位置にペグ打ちして固定します。自在をしめあげて、ボールが前後左右に大きく動かなくなるよう調節してください。

STEP 9 キャノピーの活用

- ①付属のキャノピー用ボール（シルバー）を使い、前室をキャノピーとしてご使用できます。



注意
 風の強い時は、必ずキャノピーを閉じてください。ボールが折れる恐れがあります。

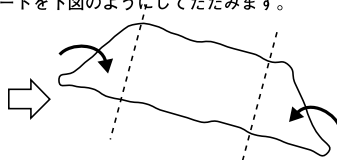
撤収手順

STEP 1 フライシートをたたむ

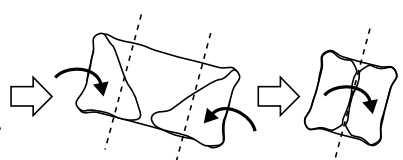
- ①フライシートを固定したベグ、Dリングに掛けたフック、内側にあるベルクロテープすべて外して、フライシートをインナーテントから取り外します。
- ②フライシートを下図のようにしてたたみます。



前後の屋根の四隅を持って、中央を折り込みながら半分にする。



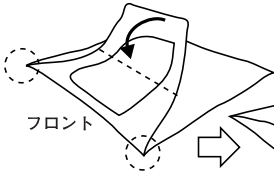
両端を中へ折り込んで長方形にする。



長方形を更に中へ折り込み、1/4のサイズにたたむ。

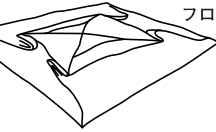
STEP 2 インナーテントをたたむ

- ①インナーテントのフロントポール、バイザーポール、メインポール（2本）を外します。
- ②インナーテントの四隅をきれいに広げ四角形にしてから、下図のようにしてたたみます。

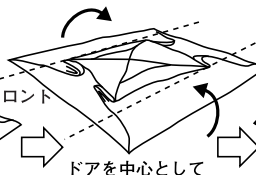


フロント

コーナーをおさえながらメインポールのスリーブの端を持ってドア面をきれいに伸ばして外側へ折りたたむ。



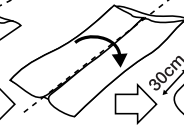
同様に後部ドア側とサイド面も全て同様に折りたたむ。



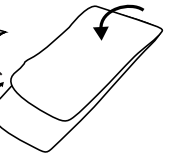
フロント

ドアを中心としてサイド面を内側に折りたたむ。

更に中へ折り込み、1/4のサイズにたたむ。



30cm



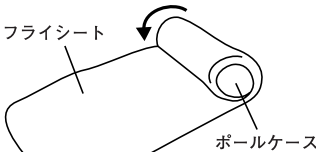
たたんだインナーテントを30cm程ずらすようにして縦にたたむ。

△ 注意

インナーテントは汚れをふき取り、十分に乾かした状態で収納してください。

STEP 3 ケースに収納する

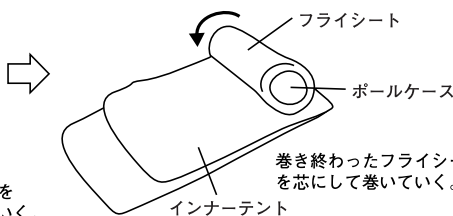
- ①ポールを全てポールケースに収納します。
- ②最後に、フライシートとインナーテントを下図のように巻いて、キャリーバッグに収納します。



フライシート

ポールケース

STEP1でたたんだフライシートをポールケースを芯にして巻いていく。



フライシート

ポールケース

インナーテント

巻き終わったフライシートを芯にして巻いていく。

△ 注意

固く巻かないとキャリーバッグに入らない場合があります。

△ 取扱上の注意

●テント内での火気の使用は危険ですのでお避けください。また炎から離れたところに設置してください。●テント内と外の気温差が高い時、テント内に水適が生じることがありますが(結露)これは水漏れではありません。窓をあけるなど換気を行なうことで軽減できます。●台風・暴風雨の際は危険ですのでテントの使用はお避けください。

△ 収納・保管の注意

- ご使用後は汚れをよく落とし、十分に乾かしてから収納・保管してください。濡れたままの状態での収納すると色うつりする場合があります。
- 生地や破れなどは市販のリペアーキットで補修が可能ですが、パーツ交換や本格的な修理が必要な場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。
- 幼児・子供の手の届かないところに保管してください。